

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-63	講座名	農的な暮らしづくり—都市と農村(都市周辺地域)をつなぐ
記載日	2023/2/3	団体名・企業名	なごや環境サポーターネットワーク

〈講座全体の概要〉(300字程度)

農的な暮らしづくり—都市と農村をつなぐ—について、①花咲か研究所の活動(地域資源を生かす)②なの花畑塾(市民農園)の活動③愛農学園農業高校の活動(次世代育成)の事例から話し合い、最後はシンポジウムを行い、まとめとしました。それぞれの立場からの発表・発言により、参加者は農的な暮らしづくりについて共有することによって、自分たちの意欲を高めることができたと思います。とともに、農的な暮らしづくりから食料問題・食の安全保障、自給率の問題等に広げられるとよかったと思います。更に、社会的な問題として、子供の食の問題(子ども食堂等)にも広がるとよかったと思います。(食と農の相関関係まで考えられるとよかったです)



※写真 1 の説明

10/8あいちNPO交流プラザ 都市と農村をつなぐ農的な暮らしづくりの様子

※写真 2 の説明

1/22エコパルなごや 農的な暮らしづくりシンポジウムの様子

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

- ・有機農業を実践している人、農業従事者を育てている学校、農業者と都市市民をつなぐNPOの人などの話を聞いて参考になった。
- ・立場の違う三者の方の都市と農村をつなぐ考えを知ることができるとともに、広く農業についての知識を知ることができた。(試食するという味わうことを通しても)
- ・いろいろな話を聞いて、それぞれの農的な暮らし(ベランダ菜園、学校園、市民農園、本格的な農業)のいよきを高めることができました。また、現在行っていない人にもやってみようという意欲を感じさせることができたと思います。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- ・講師の方々の活動を知ることができてよかった。
- ・内容が身近なことから将来的なことまでつながっていて、とても勉強になった。
- ・普段はあまり考えるようなことがない、貴重な話を聞くことができてよかった。
- ・自然共生や生物多様性に興味がありますが、農業を考えることがなかったので、新しい視点が得られたことと 食べ物についてももっと気を付けたいと思うようになった。